

自然観察活動記録「京都府立植物園」

記録者：3 班 枋尾憲雄

実施日：令和 6 年 3 月 8 日（金） 天候：晴れ 気温：1 0℃(正午)

参加者：2 0 人（1 班：5 人，2 班：8 人，3 班：7 人）

実施内容：10 時朝礼後 10 時 10 分より植物園の上月さんの案内で観察開始。

メタセコイアの葉の対生とラクウショウの互生による樹形の違い、ヤナギの雄花の観察、
落葉高木樹のエノキ、ムクノキ、ケヤキ、コブシと落葉針葉樹のスイショウの落葉の今の姿の
解説と観察。ヤマコウバシの落葉しないわけについての解説 これから本番の植物生態園へ
やっと花らしいミツマタ、キブシ、ゲンカイツツジ、イヌガシの花を観察、コナラの芽ばえは
地下子葉型といって二枚の子葉がドングリの中にあって養分を幼苗に送り続けるという。
カキカズラはどうしてあんな高いところまで登れるかは葉腋に湾曲した鉤があってそれで
他の樹木に絡みついてのぼるから、ハシバミの雄しべと可愛い雌しべを観る、これから
アジサイ園に入りミツマタの花、ウワミズザクラの落枝痕、イチョウの短枝の年輪を観察
クスノキ通りでシナマンサクの花を観て大芝生地を横切りもみじ桜林へ珍しいアメリカ
ハナノキの花カワズザクラの花を観て左手に伊吹山を観ながらミモザの花へ
今日は **ミモザの日** = **国際女性デー** ここで上月さんと別れて、昼食の植物園会館へ 1 1：4 5
1 2：1 5 各自シュンラン展を観てスタート観覧温室を回り植物生態園入り口で解散 1 3：3 0
解散後個別に生態園をユキワリイチゲ、ハタザオ、セツブンソウ、セリバオウレン？など観る。

		
案内開始	イヌガシの花	アメリカハナノキの花
		
比叡山	ミモザ	集合写真